

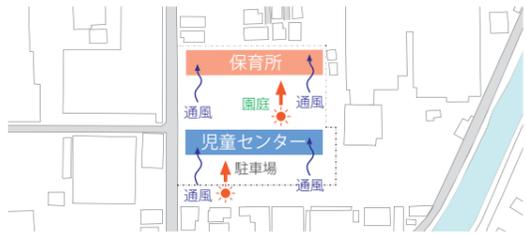
丘のあるこども園

豊かな山と海に囲まれると同時に古来からの交易も盛んだった八幡浜市。自然の中で人と人が交流し、歴史・文化をはぐくんできたように自然のエネルギーを最大限にいかした環境で、遊ぶこと、食べること、そして眠ること等生活の各シーンを四季に応じて楽しむことのできる起伏ある緑豊かな丘とそれを守る木の建物を提案したいと思います。



配置計画

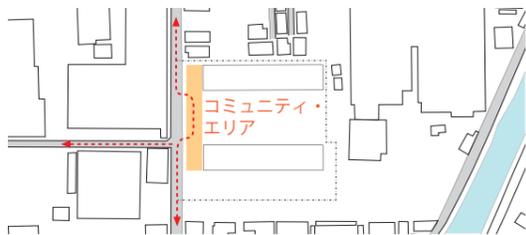
1. 敷地形状をいかして、**保育所**、**児童センター**ともに東西に長い建物とし、北から**保育所**、**園庭**、**児童センター**、**駐車場**と配置します。一日を通じてこどもたちの快適な場所となるよう全ての部屋に**南面採光**と**通風**を確保します。



2. 建物を建てるために掘削した土を場外廃棄とせず、庭の東側に盛って**起伏のある丘**をつくり、敷地東側の工場を少し目隠しします。最高で4mある丘は災害時、こどもそして近隣の方々が避難できる場所になります。

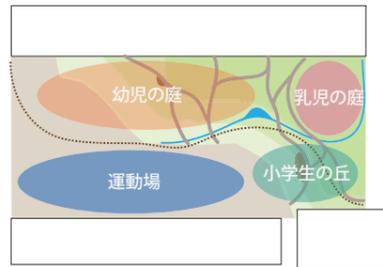


3. 街路と面する西側に屋根のある歩廊をもうけて、こどもたちを守りながら中の様子が道行く人に感じられる**コミュニティ・エリア**とします。イベント時はここを解放して正面にある文化センターや街との一体感を高められます。



ランドスケープ計画

広い庭は大きく4つのゾーンにわかれています。ゆるやかな斜面と平らな庭からなる**幼児の庭**、大小の木立に囲まれた**乳児の庭**が主に保育所の庭。大きな土山を中心とした**小学生の庭**と**運動場**が主に児童センターの庭です。これらは木の柵でゆるやかに分けられていて、土の小道を行き来しながら色々な場所を楽しめます。この柵のあたりには水の流れがあり、水辺を豊かに楽しめるビオトープがあります。



平面ダイアグラム

より多様な生物の住む環境をこどもたちが楽しめるよう、水溜りのような浅い水辺を、雨水を利用しながら造成します。こどもたちは泥に触るのも大好きです。

守られた環境で、それぞれの興味を心ゆくまで満たせるよう、ちょっとした木立、砂場、プレイハウスなどを少しづつ配した乳児の庭。



3～5歳児は身体を使った遊びに興味津々。幼児の庭は少し起伏のある土山、斜面をいかした滑り台、水辺などを配します。



よりダイナミックな遊びをもとめる学齢期には、起伏の大きな小学生の丘を中心に、木の大きな遊具があり、鬼ごっこなどの集団遊びも多彩になります。



ちょっとしたボール遊びやゲームができる開かれた運動場で。保育所から小学生たちの遊びを距離をもって観察できます。



平面計画

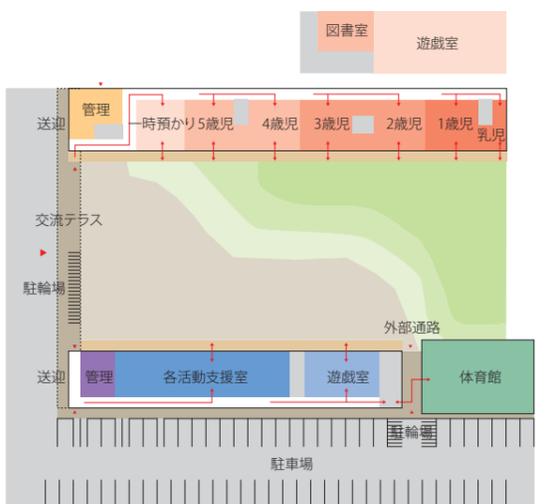
保育所：すべての部屋が南の庭に広いデッキを介して面し、室内と室外をゆったりきりぎりしながら一日を過ごせます。なだらかな斜面の庭にあわせて、大人のエリア、4、5歳児のエリア、2、3歳児のエリア、0、1歳児のエリアと少しずつ高さをかえて、大きな屋根の下で互いの様子が感じられながらそれぞれの活動に集中できる計画です。一番高いエリアの下層部にある、遊戯室と図書エリアには北側から落ち着いた光がたっぷり入ります。遊戯室は全園での催しに保護者の方がきても十分な広さを確保し、ふたつにわけて年齢ごとに活動することもできます。

児童センター：すべての部屋が広い運動場に面して、あらゆる年齢の子供たちが危険なく身体を大きく動かして遊ぶことができます。室内でのゲーム、多人数での集まりができる大きな遊戯室を一番奥に、クラブ活動、工作、調理などができる諸室、宿題や読書がじっくりできる図書室と休憩エリア。館内での活動がスムーズに行われるように配置しています。中学・高校生が思い切り身体を動かせるよう、体育館は別棟としてバレーボールコート の広さを確保しました。地域の方の運動の場として個別に解放することもできます。

交流テラス：こどもたちを安全に守りながら、街と庭をつなぐ歩廊です。幅5mの軒下空間は、保育所、児童センターへの車寄せ、駐輪場といった雨に濡れないアプローチ空間であると同時に、ベンチをおいて、道行く人がこどもたちの様子を見ながら一休みできるパフォーゾーンでもあります。

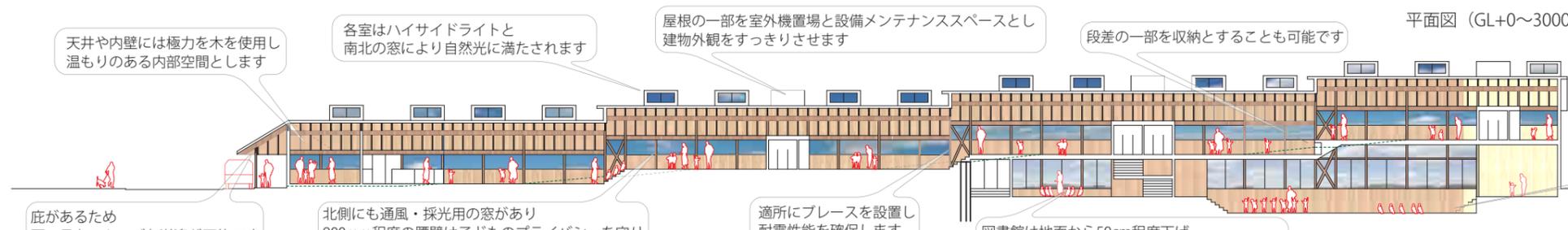
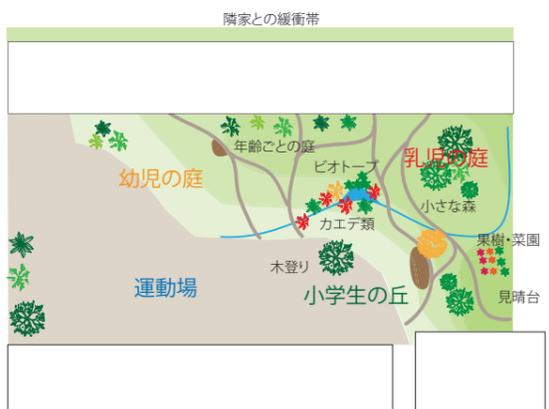
駐車場：敷地南側、文化会館駐車場と一体利用できるよう配置します。児童センターや保育所まで安全に移動できるよう広い歩道を北側にもうけています。

駐輪場：交流テラス内の保育所、児童センターに近い位置に20台、駐車場内の北側歩道からアプローチでき、体育館利用者に便利な位置に16台もうけています。



植栽計画

各々のゾーンに特性のあった植栽とします。保育所側のなだらかな斜面上部、乳児の庭エリアには紅葉、落葉、どんぐりなどが、季節に応じて楽しめるケヤキ、エノキ、コナラの小さな森を。斜面の少し下側は、常緑の山茶花、金木犀、オガタノマキなど特色のある小さな木で年齢ごとの庭を区別します。ビオトープ沿いにモミジやカエデを植えると、水辺に新緑や紅葉がよく映えます。小学生の丘近辺には大きく育てて木登りに適したクスノキを。そして日当たりのよい見晴台には様々な果樹や菜園など、皆で育てる庭をもうけています。



型板ガラスによりプライバシーを確保しつつ北側採光の落ち着きのある図書室・遊戯室です

広めの遊戯室は、2つに区切っても十分な広さを確保できます

部分的に礎をなくし、灌水すると同時に雨が滴るのが視覚的に知ることができます

0歳児室は畳敷きとします

乳児の庭には比較的大きな木を植え落ち着いた木漏れ日の中で生活します

プライバシーの確保されたプールでは夏季は庇と連続したバーゴラを設置します

様々な人と共同して管理できるような菜園は児童館の近くに配置します

津波浸水3m~4m未満を考慮し見晴台は4m程度の高さを確保します

庭への出入りも可能なメンテナンス用キャットウォークを設けます

用具の出し入れがしやすいよう壁一面開閉可能な収納とします

天井高さ7m程度とし球技にも対応できます

けらばの出は50cm程度とし、歴史的な木造建築物の意匠としながら、外壁を汚れにくくします

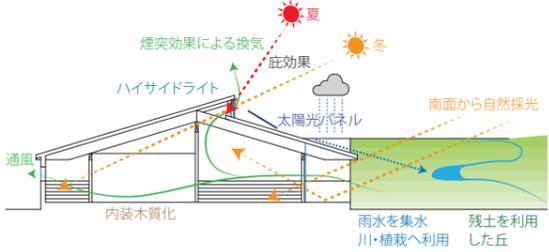
遊戯室は半地下とし、落ち着きのある中でも天井高さ4.5mの大きな空間とします

平面図 (GL+0~3000) 1:250

保育所断面図 1:250

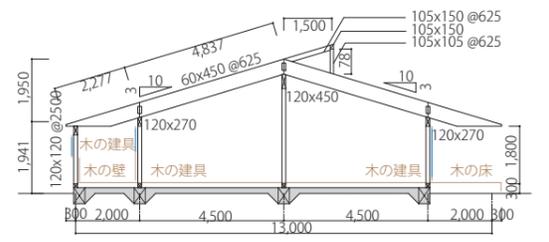
環境計画

南と北の大きな窓に加えて、棟の部分にハイサイドライトをもうけて、室内を満遍なく**自然光で照らします**。南面からの採光は、夏には室内に日射が差し込まないために涼しく、冬は差し込んだ日射が陽だまりをつくることで、**機械空調の負荷を少なく**することができます。緑の豊かな園庭には**冷却機能**があります。また中間期には北面の窓とハイサイドライトを開閉することで煙突効果から**自然な風の流れ**がうまれます。厳冬期、酷暑期には機械式冷暖房を使用しますが、広い南向き屋根面に設置した太陽光発電パネルで**使用電力量を軽減**します。広い屋根から集めた豊かな雨水を庭への散水、トイレの中水に利用すると同時にピオトープに流して**水の循環**をこどもたちと楽しみます。



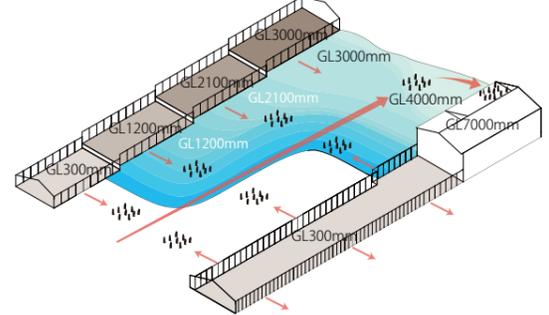
木造工法計画

柱や梁をあらわにした木造です。床や壁、建具も木質とした、自然な素材につつまれた空間です。梁の高さが450ミリまでの**中断面集成材**を使って、愛媛県内での材料調達、製作、建設を目指します。構造解析を精密に行い、3~4m程度の木材を効率よく金物でつなぐことで、運搬、施工しやすくなります。塩害・湿気対策として屋外においては溶融亜鉛メッキの金物を使用し、屋根・壁には通気層をもうけて建物全体の乾燥をうながします。



防災拠点計画

広い建物と庭は災害時の防災拠点ともなります。地震や火災時には各部屋から**外部にすぐに逃げられる平面**であると同時に、津波の恐れがある時には、庭のなだらかな斜面にそって、こどもが安全に素早く**高台**に逃げられます。



庭や果樹園、畑や木の手入れは、保護者や地域の方とワークショップを行います。植物や生物に関する知識を教えていただくことで、世代を超えた交流の機会がうまれます。



イベント時には交流テラスを開放し、街や文化会館と庭、そして建物を一体に利用できます。



広い軒下空間が、腰をかけられる場所になり、雨が降っても多人数が庭から建物へとスムーズに出入りできます。



こどもから地域の大人までが利用できる体育館も木の空間。体育館や遊戯室といった大空間では細い木材をトラス状に組むことで木材の量をおさえられ、コスト削減が可能です。

